

平成29年度 蔵書評価(工業関連) 施報告

実施日 平成29年10月27日

診断分野 PC・IT関連、530 機械工学・原子力工学、540 電気工学・電子工学、
560 金属工学・鉱山工学、570 化学工業

診断者 工業技術研究所 職員 1名

診断方法 各分野の開架の蔵書を診断者が確認し、蔵書の専門度、気づいた点を蔵書評価書に記入する。

診断結果

総評・留意点

- ・分類順になっているので、資料を探すときに見つけにくい。例えば、シリーズものの図書は関連付けて読みたいので、まとめて置いてあると分かりやすい。
- ・全体的に新しい資料が少なく、古い資料が多いと感じた。
- ・タイムリーな話題については、雑誌に多く取り上げられているので、そこから収集するとよい。
- ・分かりやすいものが少なく、専門的すぎると感じるものが多いので、極端な蔵書内容だと感じた。
- ・教科書のような資料がもう少しあると良いと思う。

PC・IT関連

- ・office やアンドロイドなどパソコン全般にかかわるものは PC コーナーにあってもよいが、工学や産業に関するものはそれぞれの分野に配架されていたほうが調べやすいと思う。
- ・この分野は日進月歩で新しい情報が出ているので、Windows や Linux の本は特に新しいバージョンのものが並んでいるとよい。
- ・パーフェクトマスターシリーズは分かりやすくまとめられているので、PowerPoint 以外のものもあるとよい。
- ・PLC(プログラマブルロジックコントローラ)の解説書や有限要素解析の本があるとよい。

530 機械工学・原子力工学

- ・全体的に解説書のようなものがあるとよい。特にエンジンやエネルギー、冷凍設備については分かりにくいと感じた。
- ・流体シミュレーション、構造シミュレーションなどのシミュレーション技術についての本が少ない。
- ・トコトンやさしいシリーズはまとめて配架されていると調べやすい。

540 電気工学・電子工学

- ・便覧のような図書が多くあり、利用しやすいと感じた。
- ・一方で、電子工作の参考となる回路理論についての分かりやすい本がもう少しあるとよいと思う。

560 金属工学・鉱山工学

- ・材料特性の辞典が目立つので、教科書のような分かりやすい図書があるとよい。
- ・アルミニウム、マグネシウム、チタンについての図書がもう少しあるとよい。
- ・金属加工技術、熱処理技術、溶接技術についての蔵書が少なく、調べにくい印象である。

570 化学工業

- ・航空機や電気自動車の材料となっている炭素繊維複合材料(CFRP)の図書が少ない。
- ・カーボンナノチューブやセルロースナノチューブについての図書があるとよい。
- ・染料の分野は専門的であるうえに、全体的に量も少ないので、教科書のような図書があるとよいと感じた。

その他

- ・雑誌コーナーは充実しているが、「工場管理」や「ナショナルジオグラフィック」もあるとよい。
- ・工業系のデータベースは需要があるので、JDream II や J-STAGE があるとよい。
- ・トヨタ博物館ライブラリーの資料が、工業分野の自分には非常に参考になっている。
- ・各分野で10冊程度、購入の参考となる図書のリストを送付していただく予定である。(～12月)

今後の対応

- ・工業分野で信頼のある出版社(日刊工業新聞社)に着目する。
- ・雑誌などを参考に、最新の話題についての資料を収集する。
- ・PC コーナーについて検討する。(各分野に配架すべき PC 関連の資料の見直しをはかる等)
- ・未所蔵の雑誌や工業関連のデータベースについての調査を検討する。